

2021年12月期決算(連結)参考資料

2022年2月14日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<https://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2021年12月期決算	3
2. 2022年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 第43期(2021年12月期)期末配当	9
5. 役員等人事	10
6. 2022年の取り組みについて	11

1. 2021年12月期決算

① 連結

(単位:百万円)

	2020年	2021年	増減	増減率
売上高	4,616	5,754	1,137	24.6%
売上総利益	76	583	507	667.1%
営業利益	△461	34	496	—
経常利益	△348	202	550	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△633	△1,477	△843	—

【概況】

当社グループにおきましては、前年に引き続き、全国各地で新型コロナウイルス感染症の流行に伴う断続的な緊急事態宣言発出やまん延防止等重点措置の適用がなされたほか、書き入れ時のお盆期間には、西日本を中心とした集中豪雨に見舞われるなど、依然として厳しい経営環境でありました。

一方では、屋外型レジャーとして人気が高いゴルフ事業が好調に推移し、また、ワクチン接種が進むにつれて、新型コロナウイルス感染症の落ち着きが見られた10月初め頃から年末にかけては、九州の遊園地では、団体客を中心に客足が大幅に増加するなど、業績回復に向けての明るい材料もありました。

以上により、当社グループの業績は売上高、売上総利益、営業利益、経常利益においては前連結会計年度を大幅に上回る結果となりましたが、九州のホテル事業に関する固定資産の減損損失を計上した影響により、親会社株主に帰属する当期純損失が前連結会計年度より大幅に悪化する結果となりました。

② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2020年	2021年	増減	2020年	2021年	増減
遊園地事業	2,305	3,154	848	107	382	275
ゴルフ事業	866	1,071	205	△40	131	171
ホテル事業	949	1,028	78	△417	△333	84
不動産事業	164	170	6	109	113	3
土木・建設資材事業	330	328	△1	79	55	△24
消去又は全社	—	—	—	△301	△314	△13
合計	4,616	5,754	1,137	△461	34	496

【遊園地事業】

売上高：九州の遊園地は緊急事態宣言ならびにまん延防止等重点措置が解除された10月からは、個人客ならびに修学旅行等の団体客が大幅に増加するなど、ゴールデンウィークを中心とする春の行楽シーズンに臨時休園した前期を大きく上回りましたが、通年における新型コロナウイルス感染症の影響に加え、夏休み期間の天候不良の影響も大きく、十分な回復には至りませんでした。

北海道では、最新のキャラクターショーや花火大会等を開催し、集客の拡大を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、恒例の大型音楽イベント「JOIN ALIVE」をはじめ、目玉となる集客イベントの開催を見合わせたこともあり、思うように利用者数を伸ばすことが出来ませんでした。

以上の結果、売上高は前期比848百万円増収(+36.8%)の3,154百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比275百万円増益(+255.8%)の382百万円となりました。

【ゴルフ事業】

売上高：3つのゴルフ場では、徹底した感染予防対策に努めるとともに、万全なコース整備とコース改良に注力し、より一層快適なプレー環境づくりに取り組むとともに、特色のあるイベント開催やプレープランの造成等に取り組み、若年層や女性といった新たな個人客やグループを中心に利用拡大を図った結果、売上高は前期比205百万円増収(+23.7%)の1,071百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、131百万円のセグメント利益(前期同期は40百万円の損失)となりました。

【ホテル事業】

売上高 : 九州のホテルでは、新型コロナウイルス感染症の落ち着きに応じては、個人客及び団体客の増加傾向も見られましたものの、度重なる飲食店等への営業時間の短縮要請や行動制限等の影響もあり、特に婚礼をはじめとする各種宴会の需要が大幅に落ち込みました。

北海道のホテルは、宿泊客の獲得や料飲部門の売上拡大を図り、北村温泉ホテルは3月よりリニューアルオープンし、集客拡大を図りましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う利用制限等の影響により、コロナ禍以前の宿泊者数までの回復には至らず、宴会部門においては大きく落ち込みました。

以上の結果、売上高は、前期比78百万円増収(+8.3%)の1,028百万円となりました。

セグメント利益: 売上高の増加に伴い、333百万円のセグメント損失(前期同期は417百万円の損失)となりました。

【不動産事業】

売上高 : 既存テナントの一部賃料改定により、売上高は前期比6百万円増収(+3.8%)の170百万円となりました。

セグメント利益: 売上高の増加に伴い、前期比3百万円増益(+3.4%)の113百万円となりました。

【土木・建設資材事業】

売上高 : バイオマス火力発電所への燃料投入業務は、新発電所の稼働に伴う受託などで堅調に推移いたしましたが、客土用土の取引減少のほか、建設資材のコールサンドやポゾテックの販売が落ち込み、前期比1百万円減収(△0.6%)の328百万円となりました。

セグメント利益: 売上高の減少及び利益率の低下により、前期比24百万円減益(△30.1%)の55百万円となりました。

2. 2022年12月期業績予想

2022年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの新たな変異株による感染の急拡大を受け、2022年1月にまん延防止等重点措置が九州各県で適用となり、不要不急の外出・移動の自粛要請、飲食店等への営業時間短縮要請やイベント等の開催制限がある中、消費者の行動や意識の変化を含めて、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であるため未定としております。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

また、2022年12月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても未定とさせていただきます。

3. 業績推移

連結(通期)

(単位:百万円)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 予想
売上高	7,810	8,359	4,616	5,754	—
営業利益	564	684	△461	34	—
経常利益	548	691	△348	202	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	301	386	△633	△1,477	—

4. 第43期(2021年12月期)期末配当

当期におきましては、繰越利益剰余金に欠損が生じておりますが、当社は、株主に対する安定的な配当を経営の重要政策の一つとして位置付けており、別途積立金の取り崩しにより繰越欠損を補填し、その補填後の繰越利益剰余金を原資として、1株当たり2円の期末配当を実施する予定としております。

なお、2021年12月期第2四半期末(中間期末)におきまして、中間配当として1株につき2円の配当を実施しております。また、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
第2四半期末	5円00銭 普通配当4円00銭 特別配当1円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	0円00銭	2円00銭 普通配当 2円00銭
期 末	6円00銭 普通配当5円00銭 特別配当1円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	7円00銭 普通配当6円00銭 特別配当1円00銭	0円00銭	2円00銭 普通配当 2円00銭
年 間	11円00銭 普通配当9円00銭 特別配当2円00銭	12円00銭 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭	14円00銭 普通配当11円00銭 特別配当3円00銭	0円00銭	4円00銭 普通配当 4円00銭

5. 役員等人事

2022年3月30日開催予定の定時株主総会において正式に決定

1. 新任取締役候補

◆取締役(非常勤) 最上 剛(モガミ ツヨシ) 1956年6月18日生 65歳

【略 歴】

1980年 4月 株式会社肥後銀行入行
2010年 6月 同行執行役員融資部長
2011年 6月 同行取締役執行役員与信管理部長
2013年 6月 同行取締役常務執行役員
2015年 6月 同行取締役専務執行役員
2015年10月 (株)九州フィナンシャルグループ取締役
2016年 5月 株式会社肥後銀行取締役専務執行役員(代表取締役)
2018年 4月 (株)九州フィナンシャルグループ取締役専務執行役員
2020年 4月 肥銀リース株式会社副社長執行役員
2020年 6月 同社代表取締役社長(現任)

※最上 剛氏は、社外取締役候補であります。

2. 退任予定取締役

◆取締役(非常勤) 上野 豊徳(現当社取締役、肥銀リース株式会社会長)

6. 2022年の取り組みについて

【遊園地事業】

①グリーンランド遊園地(九州)

新型コロナウイルス感染症が見られだしてから早くも2年が経過しているが、引き続き、しっかりとした感染拡大防止対策を行いながら安全安心なレジャー事業の推進に努めるとともに、新たな視点による付加価値の創造と追求により、新たな顧客ニーズの喚起を図ってまいります。

■1月2日～3日において、イルミネーションイベント「ワンダーイルミネーション」開催による夜間営業を実施し、光の大通り「ルーチェ・ヴィアーレ」のほか、100カ所以上のイルミネーションスポットを展開

■春のイベント

1. 「きかんしゃトーマスとなかまたち STEAM(スチーム)アドベンチャー ～今日からキミもエンジニア～」
 期間:3月19日(土)～5月29日(日) 計72日間

特に未就学児に人気の高い「きかんしゃトーマス」をテーマに、様々な装置を用いたミッションにチャレンジして、遊びながら学べる体験型の教育イベントとなっております。

2. 「仮面ライダーリバイス スペシャルステージ」

期間:3月19日(土)、20日(日)、21日(祝)、26日(土)、27日(日)・4月2日(土)、3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、29日(祝)、30日(土)・5月1日(祝)、4日(祝)、5日(祝)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日) 計19日間

◆上記以外にも、人気のキャラクターショーならびに話題性の高いイベントを適時開催予定

■プリキュアオールスターズがやってくる！ 5月3日(火・祝)

■GW打上花火ショー 5月3日(火・祝)～4日(水・祝)

■GWに向けて「ファミリー向け新規アトラクション」導入予定のほか、期間限定施設の「宝石さがし」も展開

■3月1日(火)より、「マタニティ割引(妊婦さんはご入園料半額)」を導入し、ご来園機会の拡大を図ります。

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

■春イベント

◆多彩なキャラクターショー開催

- ・「鬼滅の刃」ショー
- ・「仮面ライダーリバイス」ショー
- ・「デリシャスパーティ♡プリキュア」ショー
- ・「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」ショー

■夏イベント(予定)

- ・子ども達に人気のキャラクターショー開催
- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE 2022」(ジョインアライブ) ※安全・安心な開催に向け検討中
- ・「いわみざわ彩花まつり花火大会」「いわみざわ公園花火大会」

■新規アトラクション「ファイヤーファイター(仮称)」、「シューティングトレイン(仮称)」導入予定

■秋イベント(予定)

- ・NHK人気イベント「ワンワンとあそぼうショー」をはじめ、週末毎に人気キャラクターショーを実施予定

③いわみざわ公園バラ園

- 第39回全国都市緑化北海道フェア(恵庭市)が、令和4年6月25日(土)～7月24日(日)まで開催され、その協賛会場となります。

【ゴルフ事業】

新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、密になりにくいスポーツとして人気が高いゴルフ事業においては、引き続き、徹底した感染予防対策に努めるとともに、様々な集客施策に取り組んでまいります。

- 荒尾市、大牟田市、広川町（久留米市）の3つのゴルフ場のスケールメリットを活かして、オフィシャルホテルをセットとした新たなリゾートプランを展開して、幅広いエリアからの集客を図る
 - 自動精算機の導入により、混雑による「密」を避け、お客様の利便性向上を図る
 - 「グリーンランドリゾートゴルフコース」では、好評なオープンコンペに加え、ペアマッチ方式のロングランコンペを開催することで、初心者から上級者まで幅広い集客を図る
 - 「大牟田ゴルフ場」ならびに「広川ゴルフ場」の両メンバーシップコースでは、メンバー限定の特典付与や特別コンペ開催により利用促進を図る
- また、若者向けプランや早朝スループランなど、きめ細かいプレープラン造成によりビジターの利用拡大を図る
- ゴルフカートのコース内乗り入れサービスによるプレー環境の快適性ならびに利便性の高さをPR
 - 樹木の剪定・伐採及びカート道路の補修等のコース整備に注力

【ホテル事業】

① ホテルブランカ・ホテルヴェルデ

■ グリーンランドのオフィシャルホテルとしての強みを活かした宿泊客の獲得を図り、地域のシティホテルとしての特色を打ち出して、地元顧客の利用拡大を図ってまいります。

【ホテルブランカ】

- ・遊園地、プール、ゴルフ場に隣接する抜群のロケーションを背景に、様々なニーズに対応できる宿泊プランをPR
- ・遊園地を望む中庭でのバーベキューや色々な味が楽しめる鍋バイキングなど顧客満足度の高い食事について、宿泊客のみならず更なる地域の顧客獲得のため、キャパシティ拡大等の改善を図る
- ・遊園地ご利用のお客様のレストラン利用促進及びプール利用のお客様の売上拡大を図る

【ホテルヴェルデ】

- ・遊園地やゴルフ場のご利用者に向けた、オフィシャルホテルならではのオリジナル宿泊プランをPRするとともに、予約が好調な修学旅行に対し、受入態勢を更に確立し、次に繋がるように努める
- ・料飲部門では、地元客や遊園地利用客に向けたランチメニュー改善に取り組むほか、旅の思い出となる朝夕食の一層の充実を図るとともに、運営効率向上を図り、収益体質の改善を目指す
- ・地域の顧客に対しては、魅力あるイベントの開催はもちろんのこと、ヴェルデの魅力を打ち出し、更なるリピーター確保に努める
- ・婚礼に関しては、情報提供チャンネルを拡充し、「ヴェルデ婚」の強さをしっかりPRして着実な獲得を図る
- ・館内照明については、更にLED化を推進し、コスト削減に取り組んでいく

【ホテル事業】

②ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

■遊園地やスキー場を中心としたリゾート地域の中核ホテルとして、お客様の多様なニーズに応えるとともに、地域に根差したホテルとして、あらゆる場面をご利用いただけるホテルとしての魅力増大に努めてまいります。

【ホテルサンプラザ】

- ・遊園地やスキー場とのセットプランを柱に、ビジネスプランやファミリープランに特典を付与して利用拡大を図る
- ・新たな料飲メニューの提供に注力し、顧客獲得を図る

【北村温泉ホテル】

- ・最大の魅力である「源泉掛け流し43℃の名湯」を強く打ち出しながら、女性客をターゲットとしたオリジナルプラン造成による集客を図る
- ・好評な地元の新鮮野菜を中心とした魅力ある売店をPRして、リピーターづくりを促進

【不動産事業】

・社有地の有効活用として、新しいテナントの誘致を促進し、遊園地を中心とする、グリーンランドリゾートエリア全体の魅力増大を図る

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート「オズハウス I 番館」完成・賃貸開始

【土木・建設資材事業】

- ・バイオマス発電所への燃料投入業務の着実な受託
（2021年12月から2022年1月にかけて、新たな発電設備2か所稼働開始）
- ・ポゾテックやコールサンドなどの建設資材の販売促進
- ・各種工事受注を積極的に推進